



学校法人神奈川歯科大学 理事長
鹿島 勇

イノベーションとグローバルゼーションを核とする成長戦略

新年明けましておめでとうございます。

昨年、「100年後の価値を今創造する」と題した総論的課題でした。今年、「イノベーションとグローバルゼーションを核とする成長戦略」とし、具体的に本学の10年構想について述べることにします。10年を1スパンとする理由は、日本の社会環境が10年毎に大きく変動していくことに起因します。1979年、エズラ・ヴォーゲルに「Japan as No.1」と言わしめながらもイノベーションを怠り、金を金に投資する拝金主義的思想に走った先はバブル崩壊でした。1990年、ビル・エモットは「日はまた沈む」で見事にその末路を言い当てています。その後、「日はまた昇る」で始まった21世紀も、ほぼ10年のタイムスケールで時代の盛衰が繰り返されていくでしょう。100年後の本学も、10年を単位とした未来構想の積み重ねから、その価値が決定されることとなります。

新病院建て替え 10年構想

平成29年秋、高度先進口腔医療機関として新病院が完成します。この構想は平成23年、学内が混沌としていた状況の中、大学の認知度向上と地域密着型の病院を目指す10年構想として立案されました。その先駆けとして平成25年、「人体標本と100年史」と題した資料館を開館しました。その目的の一つは、外交的手段として活用することです。つまり、外部から人を呼べるに値する他に類のない、本学を象徴する何かが必要でした。それは、医療関係者をはじめ、地元の有力者、名士等年間4,000人が来館し、その見事に感銘を受けていることから役割を十分に果たしています。

その一方で、樹齢100年を越す桜並木、日本最北限といわれるジャカラダの高木を対象に、平成26年より本学の文化事業としてジャカラダ・フェスティバルを開催しています。昨年、ジャカラダの花に8,000人、100年桜に2,000人、総計1万人の一般市民の方々が本学の校門をくぐりました。今やジャカラダと桜は本学のシンボルであり、生きたオブジェであると同時に横須賀市のパワースポットとなりつつあります。この1万人の方々を、新病院へと導くためのもう一工夫が必要でしょう。更に、地域密着型の象徴として、新病院内にカフェテリアを開設し、障害を持つ若者に働く場を提供します。その

支援を目的に、児童養護施設退所者を雇用します。それは、彼らに進学への機会を与えることにつながり、真の意味の地域貢献となるでしょう。それらを背景に平成29年5月21日、創立100周年記念式典を横須賀芸術劇場にて執り行います。本学の再生・復興・発展が、この式典を通して全国の口腔医療関係者に認知されることとなります。

この健かに図られた成長発展のためのシナリオは、新たな価値を生み出す本学独自のイノベーションといっても過言ではありません。

インバウンド・ビジネスをプラットフォームとする未来戦略 10年構想

この構想は平成23年、アジアからの留学生確保を契機に本学のグローバル人材育成の一環として立案されました。定員割れしている中での留学生確保は、当時様々な誤解や疑念を招きました。現在100名近い留学生が在籍しており、募集定員も充足していることから、その風評も自然消滅しつつあります。この構想は、横浜クリニックを核に、近い将来開設を目指している東京サテライトそして海外サテライトを、歯科医療技術革新とツーリズムで繋ぎ、アジアを対象に新しい基幹事業へと発展させていくプロジェクトです。その最終目的は、日本の超高齢化社会を対象とした新しい口腔医療ビジネスの創発であり、財政基盤のもう一つの基軸となることを目指します。その

最初の海外拠点地として将来の発展の場として、国家間におけるビジネスルールの統一が図られる、東南アジア地域のTPP加盟国を想定しています。この構想の原点は、50年後の日本の人口動態にあります。総人口が3割減少する一方、65歳以上の割合が4割に達し、日本は世界一の超高齢化社会を迎えます。その対策として政府は、外国人労働者の中でも特に医療介護専門職に対する規制緩和が、喫緊の課題であることを提唱しています。本学の将来ビジョンが、「健康長寿社会を支えるプロフェッショナル組織」であることから、摂食・嚥下等、口腔ケアに特化した介護専門施設経営をも視野に入れた構想です。昨年の10月、横須賀共済病院の協力の元、外国人留学生として4人のベトナム人看護師が、本学の看護学科にて一年間の研修を開始しました。このような地道な取り組みも、構想実現のための小さな一歩となるでしょう。

6年前、私達は渓谷に架けられた一本の綱の中央で、風雨に翻弄されながら片足で何とか踏ん張っていました。今は、二本足でしっかりと綱をつかみ、少しずつ陸地へ歩み寄っている状態といえるでしょう。その綱の上から陸地を凝視し、キラリと光るものを誰よりも先に見つけ出し、陸地へ上がるや否やそれを掴み取り、磨きをかけて私達のものにしていかなければなりま

せん。私達は時代を先読みし、本学の特性を活かし、未来の価値の創造に今から取り組んでいます。

終わりに

本学は、財政再建を遂行する

一方で、多くの目に見えない付加価値の高いものを失ってきました。それは、貧して純するも、まずは生き残らねばならない状況に置かれていたからでした。その結果、いつの間にか自由闊

達な気風、大学人としての自由奔放な発想や創造力、そしてそれを発揮主張できる環境を失った感を否めません。私達は、悠久の時をかけて創り上げてきた本学本来の気風や風土を、今一

度取り戻していかねばなりません。真の意味の人材とは、その様な環境の中から自然発生的に育成されてくるものであることを確信しながら理事長として7回目の新年を迎えます。



神奈川歯科大学・
神奈川歯科大学短期大学部 学長
平田 幸夫

「神奈川歯科大学の未来を左右する 今年1年への思い」

新年明けましておめでとうございます。皆様には日頃より学生教育、臨床、研究の場において、教職協働でご尽力頂きお礼申し上げます。また本年も昨年同様によろしく願いいたします。

さてご承知のように、皆様と共にやってきました平成25年度からの教育改革では、期待

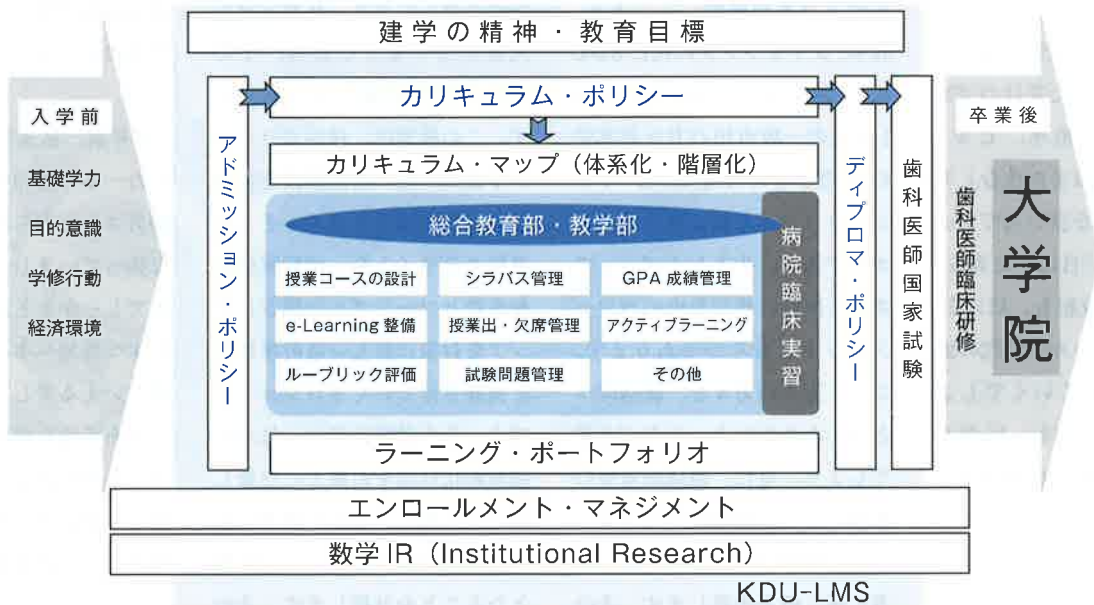
以上の成果を遂げ、本学の更なる進展に向けての原動力が創出され、また、皆様の潜在能力の高さを改めて知ることができました。それとは裏腹に、社会では、間近に迫ってきた18歳人口の減少問題や先の見えない不安定な我が国の世情から将来予測が難しく、現状の大学進学率で推移すれば10年後には定員500人規模の大学が100校ほどなくなるなどの、悲観的な意見さえ示されています。しかしながら、そのような時代であるからこそ、これからの1年、3年、5年間をどのように過ごすかが本当に重要で、そのことが未来を決めるといっても過言ではないといえます。そのような状況を踏まえ、本学のような小規模で比較的高い志望倍率の得られる医療系の大学では、ど

のような医療人を育成するかという差別化による特徴の強化、いわゆる歯科医師養成並びに歯科衛生士・看護師養成の個性化とブランド化に総力を結集して対処していく必要があるのではないのでしょうか。それは本学においても例外ではありません。だからこそ現在継続中でありまず次の①歯学教育改革の更なる充実と発展（下図に示す骨格整備の完了した「KDU-LMSの一元管理による神奈川歯科大学歯学部教育体制」の全面運用と改革スタートから2年半で得られたCBT、国家試験結果での成果の充実と発展）、②大学院組織改革と基幹研究の整備（大学院改革の一環として、平成29年度を目途に実施する改組の準備と大講座制の実現、そして成長戦略としての基幹研究の整備

と実現）、③新附属病院の平成29年秋開院に向けての準備（三浦半島・湘南地域を網羅した高齢社会の進展を見据えた地域医療の歯科拠点病院としての貢献と、基礎・臨床一体型の病院教育の実現に向けての確実・着実な準備）、④短期大学部の教育改革（国家試験100%合格の復活に向けての教育・教員改革）といった事業を本学の真のブランド化に結びつけていくことが不可欠と考えております。新たな神奈川歯科大学ブランドの実現に向けて、今年は皆さんの潜在能力を一つに結集して確実・着実に対処していく1年であって欲しいと願っています。

最後になりますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、皆様の本年のご健勝をお祈りいたします。

神奈川歯科大学歯学部教育体制の概念図





神奈川歯科大学 副学長
榎木 恵一

教育・研究力の向上を目指して

新年明けましておめでとうございます。歯科医師国家試験担当を拝命し、これまで合格率の向上を最優先課題として、6年学生教育の充実に取り組んできました。お陰様で、合格率80%私立第2位という成績を得て、当初の目的は達成されました。しかし、ここ3~4年の国試合格者数は60人程度であり、そのレベルを超えることはできていません。今年の目標は、合格者数を増やすことです。その対策として、新規3000問

以上の問題演習、グループ学習、チューター制、教材の開発、カリキュラム整備などを実施してきました。特に平成28年度は、5年教育との一貫性カリキュラムを導入した学年が進級し、6年教育体制の完成年度となる予定です。また、歯学研究科長としては、大学院開設40周年を迎えており、今後10年に向けた改革に取り組んでいます。大きな変革は、歯科臨床系専攻と歯科基礎系専攻の2専攻を1専攻に改組することです。これにより基礎と臨床の垣根をなくし、特に臨床研究に重点を置いた、Clinical Research Graduate School構想(案)を検討中です。

今後とも全力を挙げて取り組んでまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



神奈川歯科大学短期大学部 副学長
長谷 徹

新年明けましておめでとうございます。

さて、我が国日本は18歳人口だけでなく人口全体が減少し始めるという未体験ゾーンに突入する一方で、国際的には大学教育の改善・充実が大きな課題となっております。本学歯科衛生学科も学生数の減少が最大の懸案となっております。しかし、鹿島理事長、平田学長の強いリーダーシップの下、大学全体の心強い支援と短大教職員一丸となった努力が実り、平成28年度は定員120名の入学者確保が視野に入ってきました。看護学科は社会の高いニーズも追

い風に安定的に80名の定員確保がなされており、愈々健全な大学運営が可能な状態に回復いたしましたことを先ずもって報告させていただきます。また、昨年の10月にはベトナムの首都ハノイにある国立バックマイ病院附属看護短大の卒業生4名が本学に留学しましたが、その直向きな姿は他の学生にも良い刺激となる筈です。そして一年後に、彼女たちが学んだ知識と技術を、言い換えれば本学の建学の精神である「愛」の実践を母国ベトナムに届けることができれば、大学人としてこれほど嬉しいことはありません。大学の使命は学生教育であり、社会を支える人材の輩出です。その社会貢献の輪が地元横須賀から神奈川へ、そして日本からアジアの国々にまで及ぶかと思うと心が躍ります。

最後に、神奈川歯科大学短期大学部が神奈川歯科大学の一員としてその力を発揮し、神奈川歯科大学の益々の発展に寄与できることを願っております。



神奈川歯科大学 副学長
菅谷 彰

新年度に向けて一入試と教育一

新年明けましておめでとうございます。「光陰矢のごとし」というように、もう新たな年を迎えることになりました。昨年は教育改革3年目を迎え、さらなる教育効果の向上が期待されます。入試に目を向ければ、受験生の中には教育改革の一端である5学期制カリキュラムや全科目の録画講義視聴が可能な教育システムに魅力を感じて志願してくれた学生も少なくありません。大学において教育の質の担保が求められる一方、受験生

においても学力の担保は必須であり、一部の入試選抜においては学力担保に問題があることも示唆される中で、多面的総合的評価が入試に求められています。本学は社会に貢献できる歯科医師を養成する医育機関であり求められる能力も多様です。高大接続が提唱される中、入試システムも近い将来その形を変え、本学もまた新たなコンセプトによる入試選抜を実施する必要性が叫ばれています。知識、技能に加え、思考力、判断力、表現力、さらに主体性、多様性、協働性といった様々な能力が求められます。入試において優れた学生を選抜し、入学後の教育により優秀な学生を育成することで、日本また海外において貢献できる優れた歯科医師を輩出していける様、尽力していきたいと考えております。



学校法人神奈川歯科大学 事務局長
峯村 明彦

高度情報化社会への対応

新年明けましておめでとうございます。昨年中央教育審議会大学教育部会での議論として、大学職員の位置づけと役割、その教育が議論されてきました。テーマとしては、①大学職員の資質向上としてSDの義務化：職員に企画能力を身につかせデータ分析、課題発見、改善提案などを日常的に行わせる。②事務組織の見直し、大学設置基準にある「事務員は事務を処理する」から「大学の目標達成に向けその役割を担う」への意識

改革と実務改革。③専門的職員の配置として、URA(リサーチ・アドミニストレーター)研究活動を効果的・効率的に進めていくためのプロジェクトの企画・運営、知的財産の管理・運用等の研究支援業務を行う人材、IRer(インスティテューショナル・リサーチャー)大学における教育、研究、財務等に関する大学の活動についてのデータを収集・分析し、大学の意思決定を支援する人材、カリキュラム・コーディネーター、学生支援ソーシャルワーカー等の人材活用。大学職員の最終目的は、ゼネラリストでありスペシャリストのハイブリッド型職員を養成することが求められている。本学事務組織に於いても、多くの情報を素早く把握し、的確に判断し活用していけるそんな組織を本年は求めていきたいと思っております。



神奈川歯科大学 附属病院病院長
小林 優

新病院の教育体制

新年明けましておめでとうございます。

今年是新病院の着工とともに新年を迎えることとなりました。激化する生存競争の最中に最先端の病院を建築できることは、大変な幸運だと感じています。

今、日本の歯学教育は、年々難度を増す国家試験によって予備校並みの詰め込み教育に劣化し、このままでは国際認証が得られない危機的状況にあります。国試対策と臨床実習の両立は歯学教育の最重要課題となっていますが、本学は「臨床の現場で基礎を学ぶ」という新たなコン

セプトで教育体系を根本的に見直しました。新病院での臨床実習は、基礎系教員も含めた、いわば「全員参加型」の教育となる予定です。そのために様々な工夫を凝らしました。まず、臨床座学と自学自習のためのチューデント・ドクター室やグループ学習室、基礎系教員が常駐するチューター室を設置し、必要な時に必要な助言が受けられる環境を整備しました。また、各診療科にはセミナー室を設け、実践と振り返り学習を交互に行える環境としました。さらに、臨床系教員が常駐するスキルラボを設置し、技能面に不安をもつ学生がいつでも好きな時に練習できる環境を整備しました。

このような本学独自の取り組みが実を結び、新病院が真の意味で復興のシンボルになることを信じて開設準備に全力で取り組む所存ですので、ご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。



神奈川歯科大学同窓会 会長
大舘 満

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様には日ごろより同窓会活動に対しご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

例年同様、昨年も豪雨や台風の影響で多くの天災に見舞われました。特に茨城県の河川の堤防決壊は記憶に新しいところです。地球温暖化とのかかわりを懸念する方が多いようです。英知を結集して災害の無い美しい地球を守ればと考えております。

さて、学校法人神奈川歯科大学においては新病院建設へ動き出し、竣工に合わせ創立100周年

記念事業が計画されています。過去の負の遺産を糧に新しい神奈川歯科大学が動き出しております。安堵の気持ちとともに大学の将来に大きな期待を持っております。本部同窓会も平成32年には創立50周年を迎え、祝賀を検討しています。

同窓会の組織改革、事業の見直しはこれからの本番です。本年2月の代議員会にて方向を決めなくてはなりません。若手会員、女性会員が同窓会に魅力を持ち、どのように同窓会活動に参画できるかが課題です。同窓会組織の根本からの組み直しが必要です。執行部一丸となって取り組み、同窓会のみならず、大学、歯科界の将来の発展に寄与したいと考えております。皆様には今後ともご高配とご指導、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。本年も皆様にとりまして良き一年でありますよう、心より祈念して年頭の挨拶とさせていただきます。



神奈川歯科大学 附属横浜クリニック院長
井野 智

「独立不羈に向けた一つ上のステージへ」

新年明けましておめでとうございます。

今年、横浜研修センター・クリニックは7月に開設14年目、私自身としては、四代目の院長として赴任し、5年目を迎えます。4年前の公募の際、示された「センター長としての条件」は

1. センターの業務に専念すること
2. 歯科と医科との連携を強化し、効率的な診療を確立すること
3. 10～20年後を見据えた「将来構想」をデザインすること
4. 2年以内に収支バランスのとれた「新」横浜センターを総合的にプロデュースすること
5. 同施設の収支はもとより財務状況をも熟知し、経営者としての自覚と責任を持つこと

以上の5つでした。私にとっては、スタッフの皆さんと夢中で改革に取り組み、2年目以降は奇跡的にも資金収支上では黒字がとれるようになり、喫緊の課題であった財政健全化の可能性を体験できたことは大きな収穫でした。また、大学院講座も新規開設し、徐々にではありますが、「独立不羈」に向けて歩み始めることができました。しかしながら、臨床教育研修機関としてのシステムはいまだに脆弱であり、今後は「生涯にわたる自己研鑽」に寄与できるセンターとして、ライフステージに合わせた研修コースを設置させなければなりません。特に、3番目に示された条件である「将来構想」は次世代の担い手のためにも、横浜を起点とした「最新のデジタル臨床研究」と「グローバルな研修制度」にいち早く着手しなければなりません。更に一歩進めたステージに向けて、歩みを進めていく所存ですので、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

今年申年。熟した果実であれば、ある程度の高所でも安全を確保しながら、着実に収穫していきたいと思っております。皆様にとって、良い年となりますように。



神奈川歯科大学短期大学部同窓会 会長
名取 すみ子

新年明けましておめでとうございます。

お健やかに新年をお迎えになりましたこととお慶び申し上げます。

日頃より同窓会に鹿島勇理事長を始め、多くの方々のご理解、ご支援のお陰で活動ができましたことを感謝申し上げます。

今年度の役員体制は大先輩齋藤フミ子顧問(昭和31年保健科卒)を筆頭に、平成27年度卒業の若い理事が加わり、世代を超え開かれた新しい風が吹き込まれ

るような同窓会活動を行えると役員一同張り切っているところでございます。同窓生も現在は15,600人を優に超え大所帯になりますと、同窓生の卒業後の動向、把握がなかなか難しいのが現状です。同窓生同士の連携をはかり活動の輪を広げながら支援等も視野に入れながらどのような活動を行っていけば同窓会をもっと身近なものと感じられるのかが、今後の当面の課題となってまいります。

神奈川歯科大学創立100周年記念行事を来年に控え、学校側とさらなる連携をはかり益々の母校発展の為、少しでも協力できれば良いと考えております。

本年が皆さまにとりまして輝かしい1年になりますよう心から祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

各賞を受賞

■ 論文賞

平成 27 年 4 月 11～12 日、仙台で開催された第 65 回日本歯科理工学会春期学術講演会で、齧制御修復学講座の武村幸彦助教は、平成 26 年度日本歯科理工学会論文賞を受賞されました。受賞論文名は「Three-dimensional X-ray micro-computed tomography analysis of polymerization shrinkage vectors in flowable composite」です。



■ 発表優秀賞受賞

平成 27 年 10 月 3～4 日東京で開催された第 66 回日本歯科理工学会で二瓶智太郎准教授が発表優秀賞を受賞されました。発表演題は「重合性基含有芳香族系シランカップリング剤に関する研究(第 12 報) - フィラー・レジン界面の変化について -」(学会理事長の米山隆之教授と)



■ ポスター賞

平成 27 年 10 月 8 日～9 日 Asian Pacific Society of Periodontology (アジア太平洋歯周病学会) の第 11 回学術大会が、インドネシア・バリ島で開催されました。

研究部門のポスター賞を微生物感染学講座 渡辺清子先生と横浜クリニック成人歯科平嶺

浩子先生の二名が受賞されました。渡辺先生はイスを対象として口腔内細菌と心疾患との関連性を明らかにし、平嶺先生は歯周病原細菌 *Porphyromonas gingivalis* が産生する酵素が口臭の原因である揮発性硫黄硫化物の発生に深く関わっていることを証明しました。



■ 平成 27 年度「科研費」審査委員表彰を受賞

独立行政法人日本学術振興会

より、本年度の科研費の審査の検証結果に基づき「有意義な審査意見を付していただいた審査

委員」として槻木恵一教授が表彰されました。科研費の審査は、第 1 段階審査(書面審査)と第 2 段階審査(合議審査)の 2 段階のピア・レビューにより行われ、公正・公平な審査が行われています。今年度は 5,500 名の第 1 段階審査(書面審査)委員の中から 189 名の方が表彰され、本学では初めての受賞となります。

■ 厚生労働大臣表彰

高度先進口腔医学講座秋本進講師が、社会保険診療報酬支払基金の審査の充実向上に貢献さ

れ医療保険制度の健全な発展に寄与された功績により、表彰されました。



附属病院新築移転場所

新築移転場所の小川駐車場跡地は、現在は更地となり、国道 16 号線側から暫くの間、附属病院を眺めることができます。



完成予想図



国道 16 号線側小川駐車場跡地(11 月撮影)

神奈川歯科大学附属病院新築移転推進資金の募金事業を実施しております。詳細は、大学ホームページをご覧ください。

<http://www.kdu.ac.jp/corporation/donation/>

横浜クリニックからのお知らせ

《人間ドックの予約について》

従来は内科受付と電話予約で行っていましたが、横浜クリニックホームページの人間ドックのパナー、または外部サイトの『ここカラダ』から予約できるようになりました。詳細は、ホームページトップ「クリニックからのお知らせ」地域医療連

携室をご参照ください。また今年度は、健診受付を 1 階に開設する予定です。

《口腔外科の予約について》

予約専用の直通電話が開設されました。

TEL 045-548-8885

第51回 稲岡祭

開国の街横須賀～宴がはじける!～

平成 27 年 11 月 7 日(土)、「開国の街横須賀 ～宴がはじける!～」をテーマとして稲岡祭が開催されました。今回も歯科大生と短大生が一丸となり積極的に学園祭を盛り上げ、お客様からお年寄りの方まで多くのお客様にご来場いただきました。

野外ステージでは MC として「川瀬良子」、学園祭全国初登場となる「アンドロイド ASUNA」を迎え、毎年恒例の POPS 部・軽音楽部・音楽部・ダンス部・ダンス有志が華やかな公演を披露してく

れました。また、今年で3回目となる「のど自慢大会」も開催され、予選を勝ち抜いた7名が個性を発揮し、稲岡祭に華を添えてくれました。優勝は素晴らしい美声で大勢の観客を魅了した看護学科2年吉川真梨乃さんでした。

アーティストライブには、「Rihwa」「Brand New Vibe」「クレイ勇輝(元キマグレン)」「ねごと」が出演し、多くのお客様と共に大盛況のまま幕を閉じました。

各クラブや有志団体からは「チュロス」「豚汁」「肉まん」「カレー」などといった馴染みのある出店で会場を賑わせ、「チヂミ」や「パールミルクティー」など国際色のある出店もあり大盛況でした。横須賀市観光協会や横須賀市の福祉施設の皆さんによるブース、また本学独自の「無料歯科相談」「高齢者体験」「妊婦体験」なども加わり大変賑やかな学園祭となりました。



アンドロイド ASUNA

MC.川瀬良子

ねごと



Brand New Vibe



Rihwa



クレイ勇輝(元キマグレン)



この度の第51回稲岡祭「開国の街横須賀～宴がはじける!～」におきましては、教職員・学生の皆様に多大なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年は「みんなで一致団結し、盛り上げていこう!」というコンセプトの基に、看護学科2年生が中心となり実施しました。当日は横須賀市観光協会様、横須賀市福祉施設の皆様、学生食堂の横須賀ハーバー様、わさび様、短期大学部保護者会の皆様にご参加いただいた事で会場が華やかになり、またダスキンレントオール様や音遊様のおかげで立派なステージや、模擬店を設けることもできました。

お陰様で、昨年よりもさらに多い約1000人の方々にご来場い

ただき、学園祭を大いに盛り上げて頂いた事に深く感謝しております。本当にありがとうございました。

学生会・稲岡祭実行委員会は、来年度も全力を尽くしますので、皆様もご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

(学生会長 牧口美月佳 / 稲岡祭実行委員会一同)



平成27年度 競争的資金獲得一覧

種別	課題番号	研究種目	研究代表者	所属	職名	研究課題名
科学研究費補助金	25293384	基礎研究(B)	畑 隆一郎		特任教授	副作用のない癌抑制法の検討：活性化 BRAK による癌の転移抑制シグナルの解明
	25293414	基礎研究(B)	久保田 英朗		特任教授	頸部扁平上皮癌のエピジェネティクス異常の解明と新規治療戦略
	25350542	基礎研究(C)	高垣 裕子		特任教授	異なるインテグリン α 2による骨の力学的刺激受容の特異性と多様性の制御
	25440174	基礎研究(C)	山本 利春	口腔科学	准教授	プロスタグランジンは冬眠する神経細胞を保護する
	25460704	基礎研究(C)	高橋 俊介	口腔科学	准教授	糖尿病性血管障害は口腔から予見できるか？ 歯肉微小血流による非侵襲的評価法の確立
	25462973	基礎研究(C)	二瓶 智太郎	クリニカル・バイオマテリアル	准教授	新規疎水性シランカップリング剤の合成によるコンポジットレジンの開発と接着性効果
	25462974	基礎研究(C)	岡田 周策	う蝕制御修復学	准教授	セラ系正方晶ナノジルコニア複合セラミックスの焼成界面の検討
	25462975	基礎研究(C)	向井 義晴	う蝕制御修復学	准教授	口腔バイオフィルム活性に対するイオン徐放性微粒子含有界面材料の効果
	25463057	基礎研究(C)	大橋 桂	クリニカル・バイオマテリアル	助教	バイオカップリング剤によるチタンインプラント表面の骨誘導能の検討
	25463058	基礎研究(C)	松尾 雅斗	口腔科学	准教授	光機能化処理によるインプラント周囲骨形成促進の試み。一微小循環からのアプローチ
	25463101	基礎研究(C)	前畑 洋次郎	口腔科学	講師	DNA メチル化阻害による抗腫瘍因子 BRAK の発現制御を介した新規口腔癌治療の開発
	25463133	基礎研究(C)	森本 佳成	口腔科学	教授	乳幼児の周期期における糖脂質代謝の改善に関する研究
	25671008	挑戦的萌芽研究	溝部 昌子	短期大学部看護学科	准教授	携帯型超音波血流計を用いた高齢者の下肢血流評価に関する研究
	25862036	若手研究(B)	保田 将史	口腔機能成育歯科学	助教	幼児期におけるストレスが口腔顔面領域の疼痛感覚に与える影響
	25862048	若手研究(B)	工藤 眞英子	口腔科学	講師	歯周病細菌に対する血中抗体価検査のインプラント周囲炎症予知の有用性に関する検討
	25870480	若手研究(B)	星野 由美	短期大学部歯科衛生学科	准教授	歯科衛生士における頸部聴診可能な専門的口腔ケア技術教育システムの開発
	26350942	基礎研究(C)	山本 伊佐夫	災害医療歯科学講座法医学歯科学	講師	虐待ハイルスク見早期発見見聞き診断ソフトの開発と舌喉頭矯正術による夜泣き改善評価
	26462801	基礎研究(C)	浜田 信城	微生物感染学	教授	デンタルバイオフィルムにおける病原因子の分子遺伝学的解明に関する研究
	26462900	基礎研究(C)	富山 潔	う蝕制御修復学	講師	抗菌剤がポリマイクロバイアルバイオフィルムの代謝および群集構造へ与える影響の解析
	26463123	基礎研究(C)	木本 茂成	口腔機能成育歯科学	教授	成長発達期における口腔筋機能療法の効果に関する生理学的研究
	26463125	基礎研究(C)	小松 知子	口腔科学	講師	唾液中の活性酸素とプロオーム解析による歯周病バイオマーカーの探索
	26463147	基礎研究(C)	高橋 聡子	口腔科学	講師	抗酸化物質クルクミンを用いた歯周病治療戦略の可能性 / 血管機能を指標とした解析
	26670821	挑戦的萌芽研究	榎木 憲一	口腔科学	教授	関節リウマチにおける唾液抗 CCP 抗体の意義の解明
	26861581	若手研究(B)	香西 雄介	放射線応用科学	講師	顎骨を対象とした反射型超音波骨強度測定装置の開発
	26861582	若手研究(B)	猿田 樹理	口腔科学	准教授	唾液メタボローム解析による NASH 発症機序の解明と新しい診断基準の構築
	26861609	若手研究(B)	室町 幸一郎	歯糖生物学	助教	修復象牙質形成における BMP-1 のプロテアーゼ活性非依存的機能の解明
	26861610	若手研究(B)	飯塚 純子	う蝕制御修復学	助教	漂白と効率的再石灰化を誘導する歯質改質システムの創製
	26861611	若手研究(B)	武村 幸彦	う蝕制御修復学	助教	マイクロCTを用いたフロアブルコンポジットレジン層の重合収縮挙動の分析
	26870665	若手研究(B)	佐藤 武則	微生物感染学	特別研究員	歯周炎症機序における A. naeslundii 線毛の分子生物学的機能解析
	15H05059	基礎研究(B)	山本 龍生	社会歯科学	教授	要介護、認知症、転倒の予防への歯科的貢献を目指した多地域大規模追跡研究
	15K11090	基礎研究(C)	倉田 俊一		特任教授	p63 がもつ口腔癌の悪性転化抑制能をゲノム編集により解析する
	15K11135	基礎研究(C)	椎谷 亨	う蝕制御修復学	講師	初期根面う蝕病巣に対する過再石灰化治療法の開発
	15K11136	基礎研究(C)	武藤 徳子	歯糖生物学	講師	感染歯髄への MTA 直接覆髄後のデンティブリッジ形成機構の解明と OPN の役割
	15K11178	基礎研究(C)	星 憲幸	咀嚼機能制御補綴学	講師	口腔カンジダ症における唾液代謝物質の網羅的解析と新規治療法の確立
	15K11275	基礎研究(C)	吉野 文彦	口腔科学	准教授	予見される口内炎の発症予防・増悪抑制を試みる新規治療マネジメントの検討
	15K11276	基礎研究(C)	小澤 重幸	顎顔面外科学	講師	癌を NK 細胞へ抗原提示する抗体型分子標的治療薬セツキシマブの新たな治療戦略
	15K11277	基礎研究(C)	近藤 忠雅	顎顔面外科学	非常勤講師	エピジェネティクスの概念から判断するセツキシマブ投与前の新たな評価基準
	15K11278	基礎研究(C)	山本 信治	歯学教育学	准教授	口腔癌および前癌病変のマッピングアレイを用いた発癌関連遺伝子の解明
	15K11433	基礎研究(C)	荒川 浩久	口腔衛生学	教授	低濃度フッ化物による老化・寿命制御の分子機構の解明
	15K11434	基礎研究(C)	遠山 峻三		特任講師	鶏血藤を用いた歯周病予防薬の開発に関する基礎的研究
15K01047	基礎研究(C)	伊ヶ崎 理佳	短期大学部歯科衛生学科	准教授	在宅歯科医療の分野における歯科衛生士の人材育成に向けた教育プログラムの開発	
15K13192	挑戦的萌芽研究	菅谷 彰	歯学教育学	教授	障害者に対する歯科医学教育のあり方と可能性	
15K15265	挑戦的萌芽研究	大平 寛	災害医療歯科学講座法医学歯科学	講師	大規模災害時の遺体情報一元管理システム構築に関する研究	
15K15697	挑戦的萌芽研究	畑 隆一郎		特任教授	分子標的予防医学への挑戦：BRAK 遺伝子の in vivo 導入による癌の転移抑制	
15K20458	若手研究(B)	桑原 淳之	咀嚼機能制御補綴学	助教	被災高齢者の口腔内環境改善の取組み・光ナノ焼滅の歯髄への応用	
15K20459	若手研究(B)	山田 健太郎	高次脳機能学	非常勤講師	抑うつ、心疾患の抑制に効果的な咀嚼運動の神経科学的解明	
15K20566	若手研究(B)	東 雅啓	口腔科学	特別研究員	メタボローム解析による唾液を用いた認知機能障害の新規診断・評価法の開発	
15K20567	若手研究(B)	生駒 文晴	顎顔面外科学	助教	選択的幼弱血管阻害因子 BRAK の臨床応用に向けて	
15K20654	若手研究(B)	刈田 慎也	社会歯科学	助教	歯周疾患の地域格差縮小に向けた市区町村事業評価ベンチマークの開発	
15K21454	若手研究(B)	吉田 彩佳	口腔科学	特別研究員	歯周病原細菌取込み色素を利用した抗菌光線力学療法の基礎解析	
15K21455	若手研究(B)	宮本 千央	口腔科学	特別研究員	抗腫瘍タンパクの局在に着目した新規悪性腫瘍治療薬「育薬」する	
15H06697	研究活動スタート支援	佐々木 悠	微生物感染学	特別研究員	カカオ豆抽出物による歯周病の改善効果に関する基礎的研究	
15H06809	研究活動スタート支援	山本 裕子	短期大学部歯科衛生学科	講師	食物要因による唾液中 IgA 増加メカニズムの解明：歯科からの健康寿命延伸を目指して	

可愛いお客様が来校

平成27年11月6日(金)、御国幼稚園児が来校されました。日頃の園児の歯科検診のお礼として、園児達が収穫した秋の野菜・果物の贈り物をいただきました。



「無料歯科検診の開催と楽しみながらウォーキング！体験講座」

平成27年10月31日(土) 横浜市栄区スポーツセンターで行われた市民イベントで、無料歯科検診と体育学川上正人准教授のウォーキングに関する体験講座が開催されました。



全学防災訓練の実施

平成 27 年 11 月 20 日（金）
全学防災訓練を実施致しました。今回は、5 年振りに本学消防計画を見直し、学内 15 箇所
の建物毎に 5 つの班編成からなる「自衛消防組織編成」を新たに組織致しました。これを踏まえ、今回の訓練は「消防計画に基づいた各担当者の役割の明確化と意識向上を図る」ことに主眼を置き、特に「本部隊」「指揮通報」「避難誘導」「初期消火」の 4 つの班を軸とした訓練と致しました。

教職員・学生等、約 1,000 名が参加した今回の訓練では、棟毎の安否確認を予定の 4 分も短縮する事ができ、避難誘導・通報連絡班がスムーズに機能した事が挙げられます。

また、消火訓練及び消火栓訓練を初期消火班が担う事で、意識向上にも繋がったことと思います。最後に行った非常食配



布訓練では、多少の混乱が生じた事が反省点として挙げられますが、全体としては大きな混乱も無く予定時刻内に終える事が出来ました。

今後は、自衛消防組織編成に基づき、班や建物毎の小規模な訓練及び該当する講習・研修会

等への積極的な参加を促し、更なる役割の明確化と意識向上を図ってまいります。
（全学防災対策協議会 / 防災実行委員
勝野 賢一）

第 10 回神奈川歯科大学白菊会 総会及び懇親会

平成 27 年 9 月 19 日（土）に、第 10 回白菊会総会並びに懇親会が執り行われました。式典には、ご遺族様ら 240 名の方にご参列賜りました。御献体者 1,928 柱の御霊に黙祷を捧げ、榎木副学長から挨拶があり、井野横浜クリニック院長より専門である補綴学における解剖学的重要性

を語って頂きました。歯学部 2 年生仲昭典さんと村田亜志美留さんから、解剖実習の体験と感謝の言葉が語られ、会場からは暖かい拍手が送られました。次に、4 名のご遺族様より学生達に向けてお話を賜りました。心温まる励ましのお言葉に、改めて人間の善意、生命の尊厳や倫

理感を感じてくれたものと思います。高橋俊介先生の「歯ぐきの血行で健康状態が解る」と題した講話の後、文部科学大臣からの感謝状を榎木副学長よりご遺族様に手渡されました。その後、白菊会友の会主催による合唱会と懇親会を開催しました。親しく和やかな雰囲気の中、会員様や若い学生達にとって、同じ食卓を囲んでの談笑は大い

に意義あるものであったと感じました。



馳文部科学大臣が、本学資料館 「人体標本と 100 年史」を視察

平成 27 年 11 月 16 日（月）、馳 浩文部科学大臣が本学に来校されました。馳大臣は同行の豊田真由子大臣政務官、島村大

参議院議員と共に本学資料館を視察されました。

資料館では、「横地千仞の世界館」をご覧いただき、独特の

世界観に包まれた作品の数々に大変興味をもたれ、「名誉教授横地千仞が 96 歳を迎えた現在も矍鑠とされており」という理事長の言葉に大変驚かれました。また、今回の視察目的である「標本室」では、ご献体者の位牌に深々と合掌さ

れ、やや緊張した面持ちでご入室されましたが、全身筋肉標本や、精密かつ精巧に創られた標本の数々を目にされ、鹿島理事長の説明に耳を傾け、ときには積極的にご質問されました。



横地千仞の世界館

歯科診療室 100 年史

教学部だより

歯学部

バスケットボール部男子連覇!! ゴルフ部女子団体優勝!!

～全日本歯科学学生総合体育大会～

第47回全日本歯科学学生総合体育大会(以下、歯学体)の冬期大会が平成26年12月25日～平成27年3月21日にかけて、夏期大会が平成27年7月31日

～8月12日にかけて開催されました。今大会の優勝は日本大学松戸歯学部、準優勝は日本大学歯学部で本学は全29校中、25位でした。

その中でも本学は女子ゴルフ部団体が優勝、男子バスケットボール部が昨年に続き連覇を達成し、女子競技スキー部団体は3位と大健闘でした。ゴルフ

部の井上さんからは「今年は試験が終わってからデンタルまでの期間が短く、コンディションの調整に苦勞しましたが、部員同士で補い合うことができました。

た。団体としての結果を出せて、部活の試合ならではの喜びを感じることができました。」とコメントをいただきました。



男子バスケットボール



女子ゴルフ部

第11回教育改善学生交流会 i*See2015へ歯学部3年生を派遣へ

平成27年8月27、28日岡山大学で行われた全国学生FD交流会に歯学部3年生謝耀慶君と国際交流室の酒井奈菜子先生が参加し、学生から見たGlobalizationにつ

いて討論するワークショップに参加、今後の本学の教育グローバル化に関する有意義な情報を収集してもらいました。この派遣は、「質保証をめざす歯学教育課程の改革と教職協働によるIR機能の構築」という取り組みを掲げて採択された補助金「未

来経営戦略推進経費」の援助で行われました。



SCRP日本代表選抜大会

平成27年8月21日(金)に歯科医師会館で第21回日本歯科医師会/デンツプライによるスチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム(SCRP)日本代表選抜大会が開催されました。SCRPは、日本歯科医師会主催で歯科学学生の研究意欲の

向上と歯科医療の発展を担う歯科学学生の育成を目的として、全国歯科大学/歯学部の代表学生が英語による研究発表を行います。本年度は、4年生の李洞峻君が本学代表として参加し、微生物感染学講座で行った*Porphyromonas salivosa* 線毛の歯周病における病原性状につい

て英語で発表を行いました。



平成27年度 第2回授業参観・学年別懇談会

第2回授業参観・学年別懇談会が平成27年10月8日(木)に神奈川歯科大学で開催され、

約120組の保護者の皆様にご出席いただきました。午前は各学年の講義を見学いただき、午後の全体説明会では平田学長からのご挨拶、菅谷副学長・櫻井教

務担当部長から学生生活・カリキュラムについての説明がありました。その後、学年別懇談会が行われ、各学年主任・担任から授業中の学生の様子や実際に

行われている学生サポートの状況について詳しく説明がありました。また希望者とは個別面談が行われました。

短期大学部

戴帽式

平成27年9月12日(土)歯科衛生学科2年生、看護学科1年生の戴帽式が執り行われました。歯科衛生学科、看護学科ともに臨地・臨床実習に臨むための大切なセレモニーであり、学

生は凛とした表情で晴れの日を迎えました。厳かな雰囲気の中、戴帽の儀では一人ひとりナースキャップを戴き、聖火伝達の儀では聖火を自らの蠟燭に灯し、誓いの詞を読み上げました。戴帽式を通し、気持ちも新たにこれからの臨地・臨床実習に励んでほしいと思います。



高雄醫學大學との学術交流協定の締結

平成27年7月24日(金) 神奈川歯科大学短期大学部と高雄醫學大學(台湾)との間で、学術交流の協定を締結しました。締結式は高雄醫學大學において行われ、高雄醫學大學からは口

腔医学院院長 李澤民教授、本学から平田幸夫学長が出席しました。今回は短期大学部の名称変更の為、再度協定を締結しました。今後も両校の教員・学生間の人材育成および教育・研究についての交流を行っていくこととなります。



短期大学部保護者会教職員懇親会便り

平成27年度第2回保護者会懇親会は、10月21日(水) 本学学生食堂にて開催され、保護者23名、教職員34名が参加し、

にぎやかに2時間親睦を深めました。懇親会は、保護者会役員17名の方々が互いに協力して企画運営を行っています。(保護者会プロジェクト 平井純子)



「海外事情Ⅱ」(台湾) 研修

平成27年度「海外事情Ⅱ台湾研修」が8月12～16日に実施され、歯科衛生学科10名、看護学科28名の学生が参加しました。高雄医学大学では劉先生、鄭先生ならびに口腔衛生部の学生の皆様に温かく迎えていただきました。自己紹介、講演後に校史館・

大学・病院内見学など親しく国際交流が行われました。



ベトナム人留学生の入学式

平成27年10月から1年間の予定で、首都ハノイにあるベトナム国立バクマイ病院附属看護短大卒業の4名が本学看護学科に留学しました。11月4日(水)に挙行された入学式では、

平田学長はじめ来賓の方々から入学の祝辞と激励の言葉を送られました。日本語の理解に支障はなく終始なごやかな雰囲気での進み、最後に長谷副学長から学生証が渡され、式典を終えました。(看護学科学科長 前山直美)



神奈川歯科大学短期大学部アカデミックサポート委員会主催生涯学習セミナー

平成27年10月8日から11月26日にかけて学内会場で実施されました。内容は、斉藤八郎先生の「語られない歴史」の真実Ⅴ全1回、日本近代化遺産Ⅳ全6回、地崎広先生の鎌倉仏像の充実と発展全5回、新倉涼子先生、新倉喜作先生の一絃の琴を弾く全5回、木村美津子先生の認知症を防ぐ強い脳を作ろうⅡ延べ19回、全部で205名の方々が受講されました。

神奈川歯科大学短期大学部リカレント講座

歯科衛生学科、看護学科では、卒業生はもとより有資格者を

対象にリカレント講座とブラッシュアップ講座を隔年で企画しています。今年度は歯科衛生学科が、平成27年8月16日(日)に歯科衛生士のためのリカレント講座2015と題して①歯科診療補助と②歯周病治療をテーマに実施しました。前者は本学教員が担当し、臨床で使用頻度が高い材料の取り扱いを実習しました。後者は、本学客員教授の鍵和田優佳里先生に「歯周治療における歯科衛生士の役割」をテーマにご講演頂きました。

看護師、歯科衛生士共に結婚や出産を機に離職する方がいますが、社会で人材が不足している職種なので、今後も支援活動を行う予定です。

引率教員：歯科衛生学科 鈴木、看護学科 棚橋



大学院ニュース

平成 27 年 9 月 10 日 (木) 大学院学位授与式が執り行われました。今回授与されたのは、【甲種】倉持江里香、寺中文字子、清水智子【乙種】秋山勝彦の 4 名です。甲種は、秋季入学した 1

回生の修了生で、平田学長より一人ひとりに学位記が授与されました。また今回の修了式より、アカデミックガウンを着用することになりました。さらに、学位記の体裁も、これまで

College 型のスタイルだったものを University 型に変更しました。特にグローバル化を意識して、英語による学位記も授与するようになりました。

神奈川歯科大学大学院は、本

年度で 40 周年を迎え、50 周年に向けて大きな改革を行っています。特に平成 29 年度には、改組を行い新専攻開設のための準備を開始し、組織改変としては大講座制を施行しました。教育改革としては課程制大学院の充実などを進めています。



2016 年度入学試験実施一覧

歯学部歯学科 (募集定員 100 名 男女)					
試験区分	試験日	合格発表	試験区分	試験日	合格発表
一般 1 期	2016 年 1 月 30 日 (土) 1 月 31 日 (日)	2016 年 2 月 2 日 (火)	大学入試 センター試験利用 1 期	2016 年 1 月 30 日 (土)	2016 年 2 月 4 日 (木)
一般 2 期	2016 年 2 月 21 日 (日)	2016 年 2 月 23 日 (火)	大学入試 センター試験利用 2 期	2016 年 2 月 21 日 (日)	2016 年 2 月 23 日 (火)
一般 3 期	2016 年 3 月 13 日 (日)	2016 年 3 月 15 日 (火)	※詳細はホームページをご覧ください		
編入 3 期	2016 年 1 月 30 日 (土)	2016 年 2 月 2 日 (火)			
編入 4 期	2016 年 2 月 21 日 (日)	2016 年 2 月 23 日 (火)			

短期大学部 歯科衛生学科・看護学科					
歯科衛生学科 (定員 120 名 男女)			看護学科 (定員 80 名 男女)		
試験区分	試験日	合格発表	試験区分	試験日	合格発表
一般	2016 年 1 月 31 日 (日)	2016 年 2 月 2 日 (火)	一般	2016 年 1 月 31 日 (日)	2016 年 2 月 2 日 (火)
特待生一般	2016 年 1 月 31 日 (日)	2016 年 2 月 2 日 (火)	特待生一般	2016 年 1 月 31 日 (日)	2016 年 2 月 2 日 (火)
試験区分	試験日	内定発表日	試験区分	試験日	内定発表日
AO3 期	個別にお知らせします (エントリー期間: 11/9 ~ 3/7)		AO2 期	2016 年 3 月 6 日 (日)	2016 年 3 月 8 日 (火)

※詳細はホームページをご覧ください

2016 年度オープンキャンパス日程

【短期大学部】ミニオープンキャンパス開催日程	
日程	内容
2016 年 1 月 10 日 (日)	施設見学/個別相談

【短期大学部】オープンキャンパス 2015 開催日程		
日程	体験授業内容	
	歯科衛生学科	看護学科
2016 年 3 月 20 日 (日)	歯科衛生士の仕事	看護師の仕事

※詳細は HP、スマホサイトでご確認ください

